

(講座) 分子創薬科学      (研究室) 薬品製造化学  
(氏名) 石原 淳            (職名) 助教授

### 【研究テーマ】

1. 特異な生物活性を持つ天然物の合成に関する研究
2. 新規合成反応の開発に関する研究

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. J. Ishihara, T. Ishizaka, T. Suzuki, S. Hatakeyama: Enantio- and stereocontrolled formation of the bispiroacetal core of spirolide B, *Tetrahedron Lett.* **45**, 7855-7858 (2004).
2. H. Ooi, N. Ishibashi, Y. Iwabuchi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: A Concise Route to (+)-Lactacystin, *J. Org. Chem.* **69**, 7765-7768 (2004).

##### (A-b) 総説

1. J. Ishihara, S. Hatakeyama: 1, 1, 1, 3, 3, 3-Hexafluoroisopropyl acrylate (HFIPA), e-EROS Encyclopedia of Reagents for Organic Synthesis, John Wiley & Sons Ltd., vol. 6 (2004).

#### B 邦文

##### (B-c) 著書

1. 石原 淳: フグ毒テトロドトキシンの不斉全合成, *化学と工業*, **57**, 761 (2004).

### 【学会発表】

##### (A-b) 一般講演

1. Keisuke Takahashi, Jun Ishihara and Susumi Hatakeyama: Synthetic Study on Dysiherbaine Analogues, The 10th Japan-Korea Joint Symposium on Drug Design and Development, Abstract p86, Tokushima, April, 21-23 (2004).
2. Jun Ishihara, Takuya Makino, Tomoko Ishizaka, Hiroshi Sekiya, Hiroyuki Satozaki, Takanori Suzuki, Akio Murai and Susumi Hatakeyama: Progress toward the Total Synthesis of Azaspirocyclic Marine Natural Toxins, 17th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry, Abstract p40, Sendai, May, 17-20 (2004).
3. Kenji Morokuma, Jun Ishihara and Susumi Hatakeyama: Total Synthesis of (+)-Trachyspic Acid, The 15th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-15), Abstract p330, Nagoya, August, 1-6 (2004).
4. Jun Ishihara, Takumi Sugai, Jota Naka, Yohei Ikuma, Takehiro Fukuzaki, Takanori Suzuki, Akio Murai and Susumi Hatakeyama: Progress toward the Total Synthesis of Azadirachtin: Development of Two Segments Coupling in Azadirachtin, The 15th

International Conference on Organic Synthesis (ICOS-15), Abstract p365, Nagoya, August, 1-6 (2004).

## B 国内学会

### (B-b) 一般講演

1. 石原 淳、石坂知子、里崎裕之、鈴木孝紀、畑山 範：スピロライド B の合成研究、日本化学会第 84 春季年会、講演予稿集Ⅱ p1008、大阪、平成 16 年 3 月。
2. 石原 淳、石坂知子、里崎裕之、鈴木孝紀、畑山 範：海産毒スピロライド B の合成研究、第 124 年会日本薬学会、講演要旨集-2 p11、大阪、平成 16 年 3 月。
3. 中野綾子、石原 淳、畑山 範：不斉 Baylis-Hillman 反応触媒 ent- $\beta$ -ICD の合成、第 124 年会日本薬学会、講演要旨集-2 p11、大阪、平成 16 年 3 月。
4. 高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Dysiherbaine 誘導体の合成研究、第 124 年会日本薬学会、講演要旨集-2 p38、大阪、平成 16 年 3 月。
5. 田代泰理、福元浩徳、江角朋之、石原 淳、畑山 範：ホスホリン及び関連リン酸エステル天然物の合成研究、第 124 年会日本薬学会、講演要旨集-2 p55、大阪、平成 16 年 3 月。
6. 諸熊賢治、江角朋之、石原 淳、畑山 範：(+)-トラキスプ酸のエナンチオ選択的合成、第 124 年会日本薬学会、講演要旨集-2 p84、大阪、平成 16 年 3 月。
7. 田代泰理、福元浩徳、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：ホスホリンの合成研究、第 39 回天然物化学談話会、淡路島、平成 16 年 7 月。
8. 諸熊賢治、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：置換クエン酸天然物トラキスプ酸とビリジオファンジン A の全合成、第 46 回天然有機化合物討論会、講演要旨集 p515、広島、平成 16 年 10 月。
9. 石原 淳、関屋裕史、田邊晃子、石坂知子、牧野拓也、東城伸吾、村井章夫、鈴木孝紀、畑山 範：アザスピロ環を有する海産毒の合成研究、第 30 回反応と合成の進歩シンポジウム p126、札幌、平成 16 年 10 月。
10. 中野綾子、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：不斉 Baylis-Hillman 反応触媒、ent- $\beta$ -ICD の合成研究、第 21 回日本薬学会九州支部大会 p17、平成 16 年 12 月。
11. 諸熊賢治、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：置換クエン酸天然物ビリジオファンジン A の全合成研究、第 21 回日本薬学会九州支部大会 p57、平成 16 年 12 月。
12. 田代泰理、福元浩徳、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：ホスホリンおよび関連リン酸エステル類の合成研究、第 21 回日本薬学会九州支部大会 p176、平成 16 年 12 月。
13. 関屋裕史、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：ピンナトキシシン A の合成研究、第 21 回日本薬学会九州支部大会 p177、平成 16 年 12 月。

### 【研究費取得状況】

1. 非残留性かつ高等動物に無害な環境保全型次世代農薬の合成に関する研究：平成 16 年度大学高度化推進経費（長崎大学、学長裁量経費）

## 【学会役員等】

### 1. 長崎県理科・化学教育懇談会幹事

## 【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	37 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
著書 (欧文)	2 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	1 編
特許	0 件		